

城南家保ニュース Vol. 21-5

熊本県城南家畜保健衛生所 平成21年 8月 発行

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617



豚の飼育施設等における防蚊対策について

日本脳炎については、原因となる日本脳炎ウイルスが蚊を媒介して人に感染することが知られています。近年、「豚」がウイルスの増幅動物となることが公衆衛生サイドで問題視されつつあります。

豚→蚊→人からなる日本脳炎ウイルスの感染環の形成を抑制するためには、日本脳炎の媒介蚊であるコガタアカイエカの性質を踏まえ、養豚場においては下記の対策により、一定の効果が期待されているところです。

記

1 豚が蚊に刺されない環境作りについて

豚舎において、媒介蚊（コガタアカイエカ）との接触を避けるために戸内の豚舎での飼育に努めること。

2 豚舎内の蚊の駆除について

豚舎内の蚊を駆除するために、豚舎内の壁面や防鳥ネット等への定期的な薬剤（ピレスロイド系）の散布等に努めること。

鶏病技術研修会が開催されました。

平成21年8月28日中央家畜保健衛生所において、鶏病技術研修会が開催されました。城南家畜保健衛生所からは「有害駆除で捕獲されたカラスの衛生検査結果」と題し、村田技師が発表しました。

知っ得コーナー

コガタアカイエカについて

- ・ 小さな水たまりではなく、水田や沼地に生息します。
- ・ 蚊は、吸血するとその後側面に留まり休息する性質があるため、豚舎内の側面や防鳥ネット等への薬剤の散布が効果的です。
- ・ 有機リン系の殺虫剤では、コガタアカイエカに耐性が生じることが認められているため、ピレスロイド系の薬剤を使用する必要があります。
- ・ 豚舎にライトトラップ（ブラックライトの蛍光灯）を設置し、蚊の駆除を行うことも豚から吸血する蚊の数を減少させる効果が期待できます。